

解 説

【第1項】

① 設計図書と工事現場の状態とが一致しないこと……

⇒ 自然的又は人為的な施工条件を除く工事現場の状態をさす。

【具体的事例】

- 掘削する地山の高さがちがっている。
- 埋め立てるべき水面の深度がちがっている。

② 設計図書の表示が明確でないこと……

⇒ 交付された設計図書において表示すべきことが欠落していたり、又は表示されていてもその表示内容が具体的でなく、実際の施工に支障をきたす場合等をいう。

また、設計図書自体において図面と仕様書とが符合していないこと及び設計図書に間違いや抜け落ちなどがある場合も含む。

【具体的事例】

- 図示されるべき形状、寸法等が欠落している。
- 仕様書の内容と図面とが一致していない。

③ 工事現場の地質、湧水等の状態、施工上の制約等設計図書に示された自然的又は人為的な施工条件が実際と相違すること……

⇒ 現場説明や図渡し等で提示された制約条件や施工条件が現場のそれと異なっている場合をいう。

【具体的事例】

- 自然的な施工条件……地質、湧水、地下水の水位等がちがっている。
- 人為的な施工条件……
 - 地下埋設物、地下工作物等の有無がちがっている。
 - 土地（捨）場、通行路の指定がちがっている。
 - 工事用地の確保未済のため、着工できない。